



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

2023～2024年度
国際ロータリーテーマ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

JUNE.12.2024 第2106回

会長/上原 達 幹事/松山賢太郎 会報委員長/玉井権太郎

例会: 毎週水曜日 午後12:30 ~ 1:30

会場: 上田東急REIホテル

事務局: 上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast/rc/>
E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

上田商工会議所 青年部について



上田商工会議所 青年部

会長 山崎 恵様

副会長 清水 洋輔様

上田商工会議所青年部の創立は上田商工会議所が90周年の節目を迎えた1987年。会員企業の経営者その後継者、事業所が認めた一般従業員たちが集まり仲間づくり、自己研鑽、商工業の振興などに取り組む事を目的に上田商工会議所の一つの組織として始まりました。現在の会員数は66名で9割弱が男性、年代別では36歳～45歳の層が7割です。業種別では製造業、建設業、小売業を中心に多様な業種構成となっており、青年部活動を行う中でそれぞれの視点や状況からの意見などを聞ける環境となっております。

大きく分けて総務、広報、青年部を楽しむ委員会の3委員会体制となっており、研修、地域活性化、親睦、広報の事業を通じて、仲間づくり、自己研鑽、地域活性化に取り組んでおります。

まず若手経営者の団体としては大きな意味合いをもつ**研修事業**は、年に3～4回の研修会を各委員会や執行部が企画準備し開催しており、それぞれの抱える課題や解決したい問題、学びたい知見をテーマに内容を決めて実施しております。講演会形式、ディスカッション形式、実際の技術などを習得する実技形式など多岐にわたり工夫された研修会を行っております。また年に1回視察研修も行っており昨年は福島、仙台にて廃炉資料館や青葉城、松島、瑞巖寺などを訪問してまいりました。

地域活性化事業は、上田の夏のお祭りの筆頭“上田わっしょい”では警備、誘導要員として運営協力すると共に青年部として踊り連にも参加し会員家族も含め楽しい思い出づくりの事業となっております。“上田大花火大会”でも警備や来場者のご案内に運営協力し、翌日の河川敷クリーン清掃にも参加させていただいております。

また冬には2003年より20年続いている信濃国分寺駅イルミネーションを企画設営しております。駅利用促進協議会様のご協力をいただき、点灯式も周辺住民の方をご招待し賑やかに開催。毎年時事テーマなどをもとに企

画設営され、地域の方にも好評で駅前ロータリーを明るい憩いの場として盛り上げております。

次に、今や上田商工会議所青年部の代名詞ともなっている“上田真田まつり”での決戦劇。これは、上田市からの委託事業として青年部が企画運営しております。夏の幸村オーディションに始まり、一般参加者の募集や管理、脚本、演出の選定、十勇士演舞の練習(劇中の十勇士は青年部会員が演じています)、

一般参加者も含めた全体練習の運営から本番の実施まで。膨大な準備が必要となる一大事業です。皆でアイデアを出しあ



い関係各所と調整しながら様々な問題をクリアし、70名を超える大所帯を事故なく安全に統括しつつ演者の士気を高め、観客の皆様が感動する舞台を完成させるという非常にハードルだらけの難しい事業ではありますが、まさに会員それぞれの本業にも生かせる様々な経験を積む事が出来る大変意味と価値のある事業です。

親睦事業は、日頃の感謝も込めた会員家族BBQや青年部のOB会“いつわ会”さんとの親睦コンペ、また小諸、佐久の商工会議所青年部との親睦会やレクリエーションを開催し、普段なかなかお会いする事のできない年代や地域の離れた方々とお話させていただく事で新たな発見や有意義な意見交換の学びの場となっております。

広報事業は、SNSでの発信、さらに公式キャラクターとして徐々に認知も広まってきた“いしがき氏(うじ)”。上田城の石垣がモチーフとなっており、石垣が大きさと形、色などの異なる石で造られている事を個性豊かな会員がいる青年部と重ね合わせ、地域の若手経営者としてこれからの上田をつくっていく礎になろうという意味が込められております。各種イベントなどいたる処に登場し、青年部活動の広告塔として活躍しております。

今年度の青年部活動指針は「人と人のつながりの大切さ、つながりへの感謝」です。上田真田まつりの決戦劇では一般参加者の皆さまが多数参加し青年部会員といるいろなつながりが生まれ、約2ヶ月間同じ時間を共にし

